

# 肥料の物流ルート最適化やジェネリック農薬の活用によるトータルコストの削減

熊本県

株式会社トマトドリームカンパニー

<https://www.tomato-dreamcompany.com/>



経営耕地面積合計

主な生産品目（施設野菜）

売上規模

従業員体制

6 ha

(借地含む)

トマト

5 ha

スナップエンドウ

0.6 ha

1億円以上

常勤7名以上

パート多数

## 資材の仕入れ等にかかる独自の取組み

- 肥料については、メーカー直送と物流ルート最適化  
・肥料などの重量物は、メーカー直送や民間配送を活用し、送料無料条件での調達体制を構築。自社倉庫を活用し、使用量を事前提示して在庫を確保。
- ・単肥の自社配合から、メーカーの専用配合肥料へ転換。配合作業や運搬作業を削減するとともに、10か所に分散するハウスへの運搬負担を軽減。
- 農薬・資材については地域価格を活かした仕入れ  
・地域代理店の競争の恩恵を活用して低価格で調達。  
・ジェネリック農薬も、効果・薬害リスクを確認の上積極利用。
- 農業機械は、用途別に専門業者から購入。中古ハウスの活用と外部専門家（コンサルティング会社）の技術支援により施設運用を最適化。
- 支払条件の最適化  
・資材によっては、ホームセンターやインターネット通販も活用し、最も安価な仕入先を選定。長年の取引実績と信用力を背景に、翌月払いに加え、年2回払い（盆・正月）や収穫期払いなど、資金繰りに配慮した長期サイトでの取引を実現。

## 導入効果

- 肥料：直送・専用配合肥料、EC（肥料濃度）最適化による使用量削減で「物流・作業・原価」が大幅減。
- 農薬：最安値での仕入れ、ジェネリック農薬、物理防除（粘着テープ等）で「農薬費・使用量」を削減。
- 農業機械：専門業者からの購入、中古活用、作業時間の数値化（標準化）で「設備投資・作業効率」を改善。
- 原料費だけでなく、作業負担・運搬費まで含めトータルコストの最適化が図れ結果、年間1,000～2,000万円規模の製造原価の削減。